令和　3年度（　2年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	市民政策局
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進	課（室）名	移住・定住促進室
施策	移住・交流の促進	電話番号	087-839-2143
基本事業	選ばれる地域づくりの推進	事業実施主体	市
事務事業	移住・定住促進事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市への移住・交流人口の増加を図るため、県とも連携しながら、本市が持つ多種多様な地域・観光資源や都市機能等の情報の効果的な発信など、本市への移住・交流の誘引に努める。 また、たかまつ創生総合戦略における数値目標の一つである「令和６年に１年間の転入と転出の差（社会増）を１，０００人」の達成に向けて、たかまつ移住応援隊を軸とした情報発信など、各種の移住・定住促進方策に取り組む。
3年度概要	①香川県移住・定住推進協議会としての各種取組 ②移住促進家賃等補助事業の実施 ③東京圏ＵＪＩターン移住補助金 ④瀬戸・たかまつキャリアサポートセンター ⑤移住促進プロモーションの強化に関する取組

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市外に居住しており、地方への移住を考えている人
意図（どのような状態にしたいか）	地方への移住を考えている人に対し、本市の魅力を効果的に発信することなどにより、本市への移住を促進し、人口減少の抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
① 移住・交流イベント実施回数	回	9	9	7	9	9
② 移住ナビ新規情報発信回数	回	30	29	11	40	40

【事業の成果】

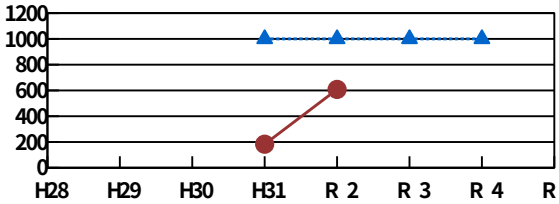
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
年間社会増（１月～１２月）	人	目標値		1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値		183	608		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

年間社会増の達成度は、６割と目標を達成できていないが、社会動態は、平成３０年度からの減少傾向が転じて、回復の傾向となっている。

（目標達成度）



（達成度）
60.8%
21点

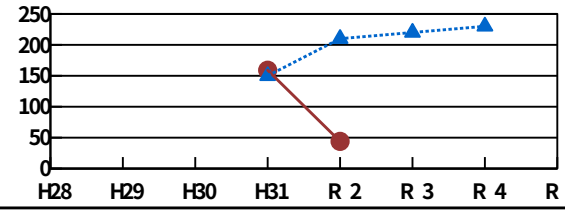
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
本市主催の移住・定住促進のためのイベント等への参加者数	人	目標値		150	210	220	230
		実績値		159	44		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた現地開催での主催イベントを中止し、オンラインでの開催に変更したものの、目標を達成することはできなかった。

（目標達成度）



（達成度）
21.0%
7点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	37,023	36,971	48,065	46,411
(事業費)	[千円]	21,143	21,036	32,353	30,699
(職員人件費)	[千円]	15,880	15,935	15,712	15,712

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベントを中止し、オンラインでのイベントに切り替えて開催したが、イベント参加者数は減少している。

令和元年度に任意アンケートの収集方法を変更したことにより、移住者数や移住元情報など、実態に近いデータを収集できるようになったことから、それらを分析し、地方創生へ向けて移住者数を増加させるための新たな取組を推進するなど、さらなる移住促進策の展開が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

大都市圏に居住する大学生や子育て世代などのＵＪＩターンを促進するために、県協議会を始め、経済団体や連携中枢都市圏構成市町等と連携を図りながら新たな取組を検討する。

また、県や協議会の事業との重複・類似事業について整理し、より効果的な事業展開ができるよう見直しを図る。

令和　3年度（　2年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	市民政策局
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進	課（室）名	地域振興課
施策	移住・交流の促進	電話番号	087-839-2278
基本事業	選ばれる地域づくりの推進	事業実施主体	市
事務事業	地域おこし協力隊活動事業	事業期間	平成 28年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の中でも、特に人口減少により地域力が低下している山間部や島しょ部において、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化に資するため、都市地域等からの人材を積極的に誘致し、「地域おこし協力隊」を配置する。
3年度概要	山間部や島しょ部への隊員の配置（女木、男木、塩江） 地域コミュニティ協議会と連携した地域協力活動 【特別交付税措置対象】

重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	山間部や島しょ部など、人口減少により地域力が低下している地域
意図（どのような状態にしたいか）	対象地域において、県外から採用した地域おこし協力隊の隊員を配置し、地域協力活動に従事させることにより、地域力の維持・向上を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
① 隊員の活動地域数	地域	4	4	4	3	1
②						

【事業の成果】

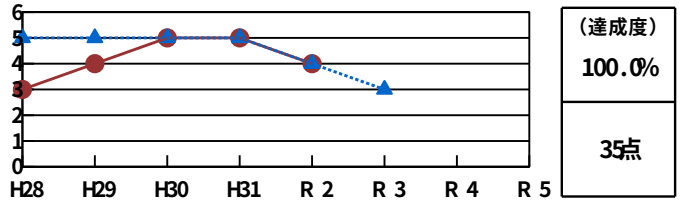
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
隊員と地域コミュニティ協議会との連携により実施した事業数	事業	目標値	5	5	4	3	1
		実績値	5	5	4		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

令和２年度は高松・塩江地区隊員の方が３年の任期を満了し定住、起業した。ほかの隊員３名につきましても、当初の計画通り活動を行うことができた。

（目標達成度）

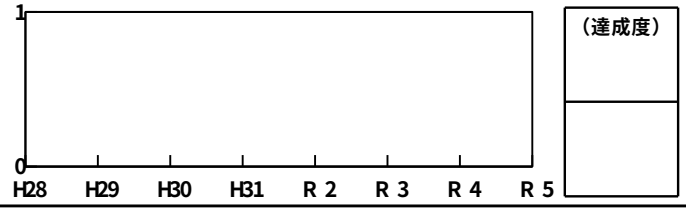


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	21,854	27,833	24,203	20,202
(事業費)	[千円]	17,317	23,280	19,714	15,713
(職員人件費)	[千円]	4,537	4,553	4,489	4,489

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市役所本庁・塩江地区隊員２名が３年間の任期を満了し退任。定住、起業した。引き続き、３名が活動している。
島しょ部及び過疎地域へ配置としているため、今後とも隊員の事業進捗や隊員のバックアップに対する職員のチェック体制を充実させていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、女木、男木、塩江地区の地域おこし協力隊員を活かし、さらなる周知活動等を展開するとともに、任期を満了して退任する隊員への定住・起業をサポートして、地域振興に努める。

令和　3年度（　2年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	市民政策局
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進	課（室）名	政策課
施策	移住・交流の促進	電話番号	087-389-2135
基本事業	選ばれる地域づくりの推進	事業実施主体	市
事務事業	政策コンテスト開催事業	事業期間	平成 29年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に定着させることを目的として、政策コンテストを開催する。
3年度概要	政策コンテストの実施方法の見直し

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-⑧	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	チーム代表は瀬戸・高松広域連携中枢都市圏に在住、又は勤務・通学している者、チームメンバーは中学生から３９歳以下の者。
意図（どのような状態にしたいか）	本市が将来も若者から選ばれるまちであるために、将来を支える若者のアイデアを、本市の政策に取り入れるとともに、若者の地元への愛着を深め、地元に定着させることを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
① 政策コンテスト参加チーム数	チーム	8	9	0	0	10
②						

【事業の成果】

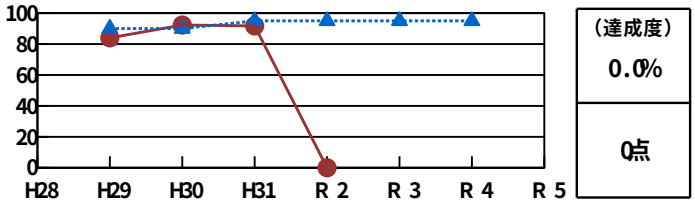
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
アンケート結果による愛着が高まったとする割合	%	目標値	90	95	95	95	95
		実績値	92.3	91.7	0		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響により、政策コンテスト中止したため、政策コンテスト参加者に対するアンケートを実施できなかったことから、目標を達成することができなかった。

（目標達成度）

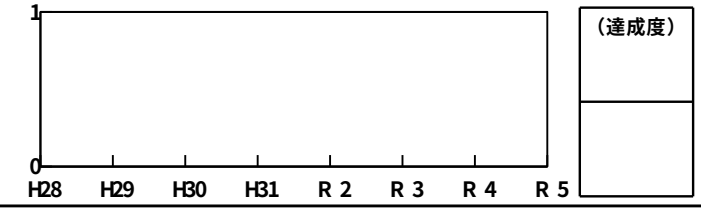


成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	8,095	8,829	2,993	1,496
(事業費)	[千円]	2,045	2,000		
(職員人件費)	[千円]	6,050	6,829	2,993	1,496

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍ではグループで集まっての事業検討やフィールドワークなどの実施が難しいため、政策コンテストの開催は中止した。
政策コンテストにより提案されたアイデアが事業化されていないことや、市内部に類似した提案型事業が存在していることなどの課題があるため、それらを整理し、新たな政策提案型事業の検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業の再開へ向けて、政策コンテストに提案されたアイデアの事業化や、他の類似した提案型事業を整理し、新たな政策提案型事業の事業スキームを検討する。

令和　3年度（　2年度決算分）高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	市民政策局
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進	課（室）名	移住・定住促進室
施策	移住・交流の促進	電話番号	087-839-2143
基本事業	選ばれる地域づくりの推進	事業実施主体	市
事務事業	生涯活躍のまちづくり推進事業	事業期間	平成 30年度～令和　5年度

【事業全体概要】

事業の概要	中高年齢者の希望に応じた暮らしの実現や地域住民の多世代交流を促進するため、移住者を含めた地域住民が主体となり本市の特性や強みを生かした地域づくりを目指す、「生涯活躍のまち」の理念を反映したまちづくりを推進する。
3年度概要	①ワークショップの成果報告会 ②高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	５０・６０歳代の移住者を含むアクティブシニア及び地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	平成３０年度に策定した「高松版生涯活躍のまち構想」に基づき、地域コミュニティ協議会を軸として、移住者を含むアクティブシニアが、地域に溶け込み、多世代の地域住民との交流を行いながら、自らの経験やスキルをいかして生涯健康で生きがいを持って活躍することができる地域づくりを目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
① ワークショップ開催回数	回	2	7	9	0	0
② 生涯活躍のまちづくりに取り組むコミュニティ協議会数	地区		2	4	6	8

【事業の成果】

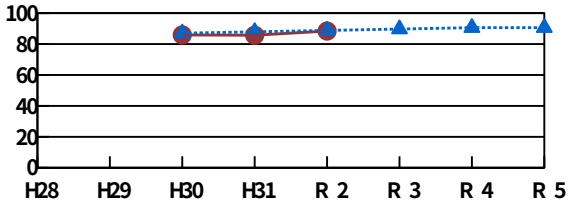
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
５０代及び６０代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度	%	目標値	87	87.9	88.8	89.7	90.6
		実績値	85.9	85.7	88.41		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

市民満足度調査では、「住みよい」と「まあまあ住みよい」と答えたシニア世代における「住みやすさ」の満足度は８８．４１％と、目標値をやや下回ったが、概ね達成できた。

（目標達成度）



（達成度）
99.6%
34点

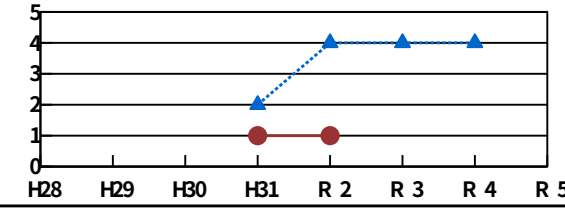
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
コミュニティプランに生涯活躍のまちの考え方を盛り込んだコミ協の数	地区	目標値		2	4	4	4
		実績値		1	1		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップの成果報告ができず、高松版生涯活躍のまち構想の周知・啓発ができなかったため、目標を達成することができなかった。

（目標達成度）



（達成度）
25.0%
8点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和　2年度（決算）	令和　3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	16,542	12,245	6,041	1,496
(事業費)	[千円]	4,443	104	55	
(職員人件費)	[千円]	12,099	12,141	5,986	1,496

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ワークショップを開催した２地区においては、高松版生涯活躍のまちづくり構想に基づいたまちづくりについての意識醸成ができたが、コミュニティプランの改訂はされていない。
また、新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップの成果報告会が開催できず、ワークショップ未開催地域に対して、コミュニティプランへ高松型生涯活躍のまち構想を盛り込むための効果的な周知・啓発ができなかった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

これまでワークショップを開催した４地区での成果報告を実施し、未開催地域へ周知するとともに、コミュニティプランの改訂時期を迎えている地域コミュニティ協議会に対して、高松版生涯活躍のまち構想を取り入れたコミュニティプランが作成されるよう啓発を行う。